

日本声楽発声学会

学会通信

第15号

会員の皆さまへ

理事長 米山文明

錦秋の候、皆様にはご清栄にご活躍のこととお慶び申し上げます。

今夏は猛暑とオリンピックなどで睡眠不足の方もおられたことと思います。国内外各地での天災、民族紛争、テロ活動、環境破壊、経済の混乱、倫理道德の崩壊と人災も止まるところを知りません。地球上の生物の存否さえ危ぶまれる情勢です。国内で災害を受けられた地域の皆様もさぞかし過酷な生活を強いられておられることと拝察いたします。どうぞくれぐれもご自愛の上、試練に耐えて頑張ってください。

このような現状の中、声と言葉に関わる音楽や芸術が、どこまで人類に恩恵と救済を齎すことができるかを問われているような気がします。

学会の活動も各部門で着実に進行しておりますので、簡単にご報告いたします。

演奏部門では、既に概略をお知らせしておりますが、丹羽副理事長、末理事ほか担当理事のお骨折りで、来る10月22日にコンサートをいたします。どうぞ、ぜひ多数ご来会ください。

教育部門もこれまで積み重ねてきた資料の整理編集を進めており、これを基礎に各年齢に適應した具体的指導、教育方式の体系付けと指針づくりを小川理事を中心に進めています。既に作成された地域別、年齢別に対応した教員の

方々向けに具体的実践方法の講習なども考えております。

理論部門も小林理事が中心になって懸案の「用語集」作成を着々と進めており、現任期内完成を目処に活動しています。

次に今年度の夏季研修会は久しぶりに酷暑の東京を離れ、涼を求めて富士山麓の御殿場で行われました。以前軽井沢で行われた頃をご存知の会員からは、宿泊、親睦を兼ねた研修会を望む声はかなりありました。理事会でも毎年議題にのぼっていましたが賛否があり、今回も激論の末、テストケースとして東京を離れてみようということになりました。あまりにも東京が暑いのも理由の一つです。学会の例会も何年に一度くらい、地方開催を望む声も以前からあります。これには地方文化の発見や、地方会員の増強などのメリットもある一方で、遠方からの参加困難な点（会場確保、準備、旅費、宿泊設備など）といったデメリットもあり、検討課題になっております。

夏季研修会の内容の詳細は、後日学会誌に掲載されますので、全体の印象を簡単にご報告します。二日間とも素晴らしい晴天の下、快晴の青空と白い雲、深い緑と清浄な心地よい大気の中で、たいへん有意義で和やかに行われました。この時季には珍しく、麗峰富士の雄姿を早朝に仰ぎました。

プログラムAは、東京混声合唱団常任指揮者の松原千振先生の「北欧合唱における言語と声」というテーマでした。北欧各国の多様な言語の比較と歌唱（独唱、合唱）との関係を織り交ぜたお話は言語学的にも音楽的にもたいへん興味深く、有意義なものでした。最近注目を浴びている北欧の合唱について、北欧各国それぞれの民族に固有の言語の特質と歌唱法とを関連づけたお話で、長年現地で活躍され、体験された裏付けを駆使した成果を独唱、合唱の豊富な声のサンプルで示されました（DVD、CD）。用意された簡単な楽譜で参加者の歌唱指導も行われ、たいへん楽しく、有益な

2時間でした。

プログラムBは、ソプラノ歌手豊田喜代美先生の「公開レッスンとお話」でした。それぞれの受講者に分かりやすく、適切なアドバイスがなされ、会場の聴衆もたいへん勉強になりました。中でも共鳴の作り方、響きの場所の扱い方、ことば特に母音の重要性とその構音法の指摘は非常に有益でした。先生の最近取得された学位論文がその根拠になっているのではないかと感じました。

プログラムCは、夕食後のコンサートで、末理事の司会で参加者による楽しいコンサートが行われました。リラックスモードの中に、温かく思いやりのこもった末先生の進行ぶりでありたいへん盛り上がり、参加した会員全員の親睦と交流に大いに役立ったと思います。

2日目のプログラムDは、以前から続いている教育部会の発声指導上の諸問題をテーマに、小川理事の司で行われました。懸案のいくつかの点が取り上げられ、特に最近発表された文科省「指導要領」についての活発な討論がなされました。

毎回時間不足になりがちだったフロアからの意見を多く取り入れる余裕ができたのも、一泊研修の収穫だったと思います。

プログラムEは、バリトン歌手田島達也先生の「オペラ歌手の役柄に応じた声質の比較」というお話でした。声種分類に関する曲目、作曲年代、音楽形式による選択のしかたについて懇切な説明があり、声楽学生や合唱団の方々の声種選択にたいへん参考になったと思います。

有名歌手たちの実例を視聴覚資料で示され、説得力があり、興味深く感銘を受けました。

プログラムFは、最近私が見聞した「小学校音楽教育における教育法」というユニークな一例を報告しました。これにつきましては、そのときの発表者本人による講演を依頼してありま

すので、日程の都合ができ次第、例会で皆様に聴いていただける予定です。

ほかに発声教育に必要と思われる資料（参考文献など）を私の手許にある範囲で紹介しました。

国内外の厳しい諸情勢の中で、会員の皆様のますますのご健康とご活躍を祈念し、併せて学会へのご協力、ご鞭撻をお願いいたします。

夏季研修会に関するご意見・ご希望をお寄せください！

今回は久々の合宿でしたが、70名余の参加者があり、充実した楽しい2日間であった、来年もぜひ御殿場での要望が多数寄せられています。来年のご希望を、事務局にハガキ、FAX、Eメールで11月7日までにお願いします（開催日、開催地、講座の内容、講師、その他）。

◎第88回（11月）例会開催のお知らせ

- ・日時 11月30日（日）10時～16時30分
- ・会場 東京芸術大学音楽学部
- ・研究発表
 - 1、教員養成大学における声楽指導の方法と問題点 杉原かおり
 - 2、学校教育期を通しての歌唱指導体系 河合 孝夫
 - 3、マクロスキー式ヴォイスセラピー—モデルによる発声の実際 福田美代子
 - 4、海外研修報告 川上勝功 小川昌文
- ・特別講演「ドイツロマン派」と声 講師 小宮正安（横浜国立大学准教授）
- ・現役声楽家の演奏とお話 波多野睦美（メゾソプラノ） つのだたかし（リュート）

第9回教育部会開催のご案内

- ・日 時 11月29日(土) 13時~16時半
- ・会 場 東京芸術大学音楽学部 大講義室
伝承わらべうたの歴史を辿る一音楽教育考
講師 秋山治子(白梅女子大学教授)
音声生理学講座:呼吸・発声と姿勢の関係
講師 米山文明(米山耳鼻咽喉科院長)
ディスカッション
(今回は、29日の教育部会、30日の例会とも同じ会場です。ぜひ、ご出席ください。)

北海道北広島市で研修会開催

予てより学会の地方開催を望む声が多数あり
理事会・教育部門委員会等で検討を重ねてお
りましたが、北広島音楽協会(会長、岡元真理子
氏、本学会会員)のご尽力により共催の実現に
至りました。どなたも参加できます。この機会
にぜひ関係諸氏にもご案内をお願いいたします。

- ・と き 11月12日(水) 午後3時~8時半
- ・と ころ 北広島市芸術文化ホール活動室
JR札幌より北広島まで20分
- ・プログラム
 1. 15:00~16:30 呼吸から発声へのしくみ
と実践方法 米山文明
 2. 17:00~18:30 呼吸法の実技
中山雅夫(呼吸法指導者)
 3. 19:00~20:30 お話とディスカッション
学校における音楽教育の諸問題
-音楽教育を中心に- 永井和子・小川昌文
- ・参加費:北広島音楽協会員・日本声楽発声学
会会員は無料、一般の方3,000円
- ・申込方法:案内書をお送りいたします。学会
事務局にFAX、ハガキでご連絡を。
主催:北広島音楽協会 共催:日本声楽発声学会
後援:北広島市・北広島市教育委員会

日本声楽発声学会主催コンサート

歌曲とアリアの夕べ

このたびのコンサートには、オーディションで
選ばれた5名の方と、理事4名(いずれも本学会
会員)の方が出演することとなり、熱い期待が寄
せられております。どうぞお誘い合わせの上、ご
来会ください。チケットは、出演者・学会理事ま
たは事務局にお申込みください。

- ・と き 10月22日(水) 19時開演
- ・と ころ 文京シビック(小)ホール 3,000円
文京シビックセンター2階
- ・出演者
高木照子 ムゼッタのワルツ「ボエーム」より
ブッチーニ他
渡辺 碧 睡蓮に寄せて、白鳥、君を愛す
グリーク他
大木咲矢子 ひぐらし「わがうた」より
團伊玖磨他
三垣理英子 多数者 C. アイヴス他
吉田早夜華 さよなら「夕鶴」より
團伊玖磨他
平松英子 ます、野バラ シューベルト
曼珠沙華、赤とんぼ 山田耕筰
山田 実 星よ、お前はどこに
ムソルグスキー
どこに行ってしまったのか、私の
青春の黄金の日々よ 「エフゲニー・
オネーギン」より チャイコフスキー
永井和子 ひなの日は、ねむの花 中田喜直
落葉松 小林秀雄
川村英司 五月の夜、ことづて ブラームス他
ピアノ 阿部侑美子 入川めぐみ 辛島則子
白澤暁子 永井 譲 東 由輝子
藤田 恵 松木慶子
お問合せ 日本声楽発声学会事務局 047-479-5701

第7回国際声楽指導者会議

2009年7月15～19日 於パリ

研究発表希望者は、要旨を仏文または英文で600字以内にまとめ、来年1月1日までに会議実行委員会に送付のこと。なお、日本語で応募する場合は、翻訳料5,000円を添えて、本年の11月30日までに本学会事務局に送付（翻訳時の字数を考慮）。採否は、先方プログラム委員会に一任される。

・参考 登録料3月30日まで70,000円。以降78,000円（1€=175円として）。

事務経費 一律4,000円

・今回も、会議終了後、周辺数都市の観光を日本旅行赤坂支店に依頼中。日数、訪問先などのご希望がありましたらお知らせください。

国際催事コーディネーター 山田 実

[会員だより]

◆出版と公開レッスン◆

会員の田中房子氏は、先ごろ「心のささえ 声のまことを 発声の手引き」と題する著書を刊行されました。若き日のベルギー留学、恩師との運命的な邂逅。以降半世紀余にわたるご自身の深い体験に根ざした発声のあり方について、回想を交え懇切に記されています（丸善1,800円）。

出版を機会に下記により、著者田中房子氏による公開レッスンとコンサートを開催します。

・公開レッスン 11月22日（土）13:30開演。
於 昭和音楽大学北校舎

・コンサート 同日 18:00開演。
於 昭和音楽大学南校舎「ユリホール」(5F)
小田急線「新百合ヶ丘」下車。
お問合せ 藍川明子 045-431-0728

◆コンサート◆

●池田京子ソプラノ・リサイタル

・日時 10月14日（火）19:00開演。
・会場 王子ホール（東京メトロ「銀座」下車）
・曲目 夢他「リート」より A. ツェムリンスキー
先ず最初に愛を 街は輝いて他
「ハニー&ルー」より A. プレヴィン
斑猫 舞 橋本國彦
入場料：4,500円 チケット取り扱い 03-3571-0955

●第35回ファカルティ・コンサート

日時 11月13日（木）19:00開演 入場無料
会場 日本大学カザルス ホール（御茶ノ水）
出演 丹羽勝海（自作自演）
「夾竹桃のうた」（初演）他

●アフタヌーン カフェ コンサート

日時 12月7日（日）15:30～17:00
会場 *Coffee House imagine* 2F
JR 横浜線「成瀬」駅下車
出演 うた：武田由美子 ピアノ：毛木久美子
会費 1,500円（お茶とケーキ代含む）
お問合せ 042-721-1697(武田) 046-295-0934(毛木)

◎学会誌37号、学会通信への投稿をお待ちしております。演奏会、出版、CD制作その他近況についても、どうぞ事務局までお寄せください。

事務局長 川上勝功

学会通信 第15号	平成20年10月7日
日本声楽発声学会事務局	
〒275-0005 習志野市新栄2-9-2 西村暁子方	
TEL./FAX. 047-479-5701	